

■ 本文

※例文は学習用に作成しています。

- ① 風 烈しく吹けば、木の葉ぞ散る。
- ② 夜 更けて、月いと明らかなり。
- ③ かの人、来むと言ひしかど、いまだ来ず。
- ④ 静かなる庭に、鳥の声聞こゆ。
- ⑤ 山高く、谷深ければ、道険し。
- ⑥ 命 あらば、また春に逢はむ。
- ⑦ いとあはれなることをなむ聞きける。
- ⑧ 花美しと見れど、すぐに萎る。
- ⑨ 人死ぬることは、いと悲し。
- ⑩ 堂々たる姿にて、馬に乗る。
- ⑪ いとをかしと思ひて、笑ふ。
- ⑫ ものを着て、外に出づ。
- ⑬ かの童、いと賢くて、文よく読む。
- ⑭ 夜寒ければ、火をたく。
- ⑮ 心清らかなれば、世ものどかなり。
- ⑯ 雪降りて、道白し。

■ 設問 (全29問)

1. ①の傍線「吹け (吹けば)」の品詞・活用の種類・活用形を答えよ。

品詞

活用の種類

活用形

2. ①の「散る」の活用の種類と活用形を答えよ。

3. ①の「烈しく」の品詞と活用の種類を答えよ。

4. ②の「更け (更けて)」の品詞・活用の種類・活用形を答えよ。

品詞

活用の種類

活用形

5. ②の「明らかなり」の品詞・活用の種類・活用形を答えよ。

品詞

活用の種類

活用形

6. ③の「来（来ず）」の品詞・活用の種類・活用形を答えよ。

品詞

活用の種類

活用形

7. ③の「言ひ（言ひしかど）」の活用の種類と活用形を答えよ。

8. ④の「静かなる」の品詞・活用の種類・活用形を答えよ。

品詞

活用の種類

活用形

9. ④の「聞こゆ」の活用の種類と活用形を答えよ。

10. ⑤の「深けれ（深ければ）」の品詞・活用の種類・活用形を答えよ。

品詞

活用の種類

活用形

11. ⑤の「険し」の活用の種類と活用形を答えよ。

12. ⑥の「あら（あらば）」の品詞・活用の種類・活用形を答えよ。

品詞

活用の種類

活用形

13. ⑥の「逢は（逢はむ）」の活用の種類と活用形を答えよ。

14. ⑦の「あはれなる」の品詞と活用の種類を答えよ。

15. ⑦の「聞き（聞きける）」の活用の種類と活用形を答えよ。

16. ⑧の「見れ（見れど）」の活用の種類と活用形を答えよ。

17. ⑧の「萎る」の活用の種類と活用形を答えよ。

18. ⑨の「死ぬる」の品詞・活用の種類・活用形を答えよ。

品詞

活用の種類

活用形

19. ⑨の「悲し」の品詞・活用の種類・活用形を答えよ。

品詞

活用の種類

活用形

20. ⑩の「堂々たる」の品詞・活用の種類・活用形を答えよ。

品詞

活用の種類

活用形

21. ⑩の「乗る」の活用の種類と活用形を答えよ。
22. ⑪の「思ひ（思ひて）」の活用の種類と活用形を答えよ。
23. ⑫の「着（着て）」の活用の種類と活用形を答えよ。
24. ⑫の「出づ」の活用の種類と活用形を答えよ。
25. ⑮「清らかなれ（清らかなれば）」の品詞・活用の種類・活用形を答えよ。

品詞

活用の種類

活用形

26. ⑬の「賢く（賢くて）」の品詞と活用の種類を答えよ。次の各語の終止形（基本形）も答えよ。

「賢く」の品詞・活用の種類

「賢く」の終止形（基本形）

⑭「寒けれ」の終止形（基本形）

27. 次の各語の終止形（基本形）を答えよ。

①「吹け」

④「聞こゆ」

⑫「出づ」

28. 次の傍線部を現代語訳せよ。

⑤「谷 深ければ」

⑥「命 あらば」

29. ③の「来む」の「来」と、⑨の「死ぬる」の「死ぬ」は、ともに特殊な活用をする動詞である。それぞれの活用の種類の名称を答え、両者の違いを「行（ぎょう）」の観点から一文で説明せよ。